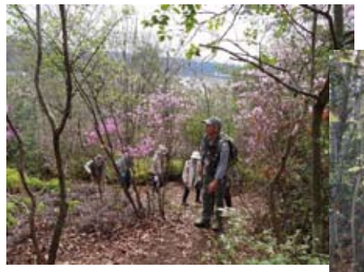
高森山公園の未来プランとは

①高蔵寺ニュータウンのシンボルである高森山の豊かな自然を、できる限り保全し雑木林の里山、トトロが住めるような森をつくります。
②子ども達が安心して遊び学ぶことができ、大人には手軽に自然に親しめ、健康と憩いを感じられる場所を提供します。
③防災防犯の場所として、常時住民が利用でき、災害広域避難先として適切な役割をはたします。
④周辺の「少年自然の家」「緑化植物園」「東部丘陵」とあわせ、まちづくりの一環として自然環境スポーツ健康公園として、活用できるようにします。（スマートウエルネス構想）
⑤公園の整備、維持管理は、住民と行政等が一体となり、専門家を含めて長期継続できる仕組みを考えます。
⑥地域の方に高森山を身近に感じ、利用してもらうために春と秋の２回、イベントを開催します。

春と秋のイベント

高森山では、早春にはあちこちに咲きほこる「ツツジを見よう会」、秋には色鮮やかに模様変えした「紅葉を見よう会」を開催します。多くの皆さんが参加され、ガイドの説明を聞きながら、ネイチャーゲームを楽しみます。



春の「ツツジを見よう会」

秋の「紅葉を見よう会」

高蔵寺どんぐりｓ（愛称 どんぐりs）の沿革

◆どんぐりｓは、2020 年５月に前身の「ＮＰＯ法人高蔵寺ニュータウン再生市民会議」（以下再生　市民会議）の理念を引継ぎ、新たにスタートした。
その再生市民会議は、2008 年に活力あるニュータウンを目指し、住民の暮らしを支援し、安心して住み継ぐことができる「まち」をつくるため、設立されたものである。以来、まちづくりの基本となるマスタープランを作成。また、たまり場として住民の考えや意見を聴く場として、 ニュータウン各地におせっかい基地をつくるなど、暮らし全般に関わる問題を取り上げ、広範囲なまちづくり活動を行ってきた。
◆しかし時の経過とともにニュータウン各地で地元密着型まちづくり活動が始まり、当法人の活動内容とも重複する部分が多くなってきた。一方、再生市民会議は、顔がよく見えない団体との声もあったことで、従来の活動を見直し、絞り込むことになった。
◆名前は親しみやすい「高蔵寺どんぐりｓ」に変更。新名称への想いは、約 50 年前ニュータウンのシンボルである高森山の緑がほぼ焼失した際、地元住民の「どんぐり作戦」により、たくさんの苗が植えられ、豊かな自然が復活したことにある。力強いどんぐりを由来とする名称は、当法人の今後の活躍、発展に繋がるものと確信する。

会員常時募集

・正会員：年間 2,000 円　　・　賛助会員（法人など）：　年間 10,000 円
・サポート会員：年間　１口 500 円（何口でも OK）
資金援助をして下さる方（ご意見・ご提案も承ります）
※入会の手続き：堀内　泰　090-1287-1258
又は yhoriuchi1015@yahoo.co.jp　までご連絡ください
詳しくはホームページ　http://www.kozoji-donguris.or.jp/

◆どんぐりｓ会報「ふれあいだより」は隔月初旬発行
東部市民センター・グルッポふじとうに配置（ご自由にお持ちください）

どんぐりs

NPO 法人　高蔵寺どんぐりｓ

私たちは、
生き甲斐と活気にあふれる
「まちづくり」の仲間です!!

◆問い合わせ・連絡先◆
「NPO 法人高蔵寺どんぐりs」　理事長　堀内　泰（ゆたか）
春日井市石尾台 6-20-16
携帯電話　090-1287-1258
E-mail　yhoriuchi1015@yahoo.co.jp

「NPO 法人 高蔵寺どんぐりs」は 活力があり、住み継いでいける「まちづくり」を目指します!!

春日井市の高蔵寺ニュータウンの人口は、1995 年の 52, 000 人をピークに減少に転じ、2020 年 4 月時点で 42, 000 人となり、少子高齢化や他地域への転出等でますます減り続けています。

このことは、人口減少・高齢化ということだけでなく、若者減少による活力の停滞、空き家の増加、足の利便性等、暮らしにおけるさまざまな問題を生み出しています。その結果、ライフスタイルに変化があらわれ、人と人との繋がりが希薄になっています。

今迄の調査で、多くの方がニュータウンを選んだ理由に、緑が多く住環境にめぐまれていることをあげられています。そこで高蔵寺どんぐり s（愛称 どんぐり s）は、ニュータウン周辺の自然環境を守ることや地域の皆さんが生き甲斐を感じられる機会や場所を提供し、暮らしにおける悩みごとを少しでも解決できるよう手助けを行ないます。また、人と人とを結びつけるイベント等を行ない、皆さんと手を取りあって、活力があり住み継いでいける「まちづくり」を目指します。

具体的活動

（1）ニュータウン及び周辺の豊かな自然環境を守り活かす活動

①高森山公園ならびに近郊の自然環境保全の推進

・「魅力ある高森山公園をつくる会」（ 部会 ）を通して、高森山の里山づくりを行ない、行政等と協力しあい、誰もが利用しやすくなるような「未来プラン」実現を進めていきます。

・ハナモモ桃源郷プロジェクト（他団体）

「高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会」を支援し、ハナモモが地域のブランドとして根づき、地域の活性化に役立つようハナモモ育樹祭等のイベントに協力します。

②玉野地区の農地と環境を守りながら地域コミュニティづくり

・「活き活き楽農会」（ 部会 ）を通して安心安全な野菜・果樹の有機栽培を楽しみながら農用地の環境保全に努めます。また玉野の皆さんと共に、コミュニティづくりに励みます。

（2）生活相談会 の開催

（暮らしの中での困りごとや悩みごと等の解決に向けてのアドバイス）

①すまい相談室

・毎月開催の住まいに関する相談会で、建築士等が専門的に、住まいの困りごとなどの相談を受け、話し合いによって解決策をさぐります。

②くらしの相談会

・毎月開催の「ハートほっとルーム」で、暮らし全般の悩みについてグループカウンセリング形式で開催します。

（3）どんぐりカフェの開催

暮しに役立つ事柄をテーマとし、講演会やセミナー・学習会、あるいは歌声サロン等、人と人とを結びつける楽しく役立つ集いを開催します。

部 会 紹 介

◆魅力ある高森山公園をつくる会

高森山は、50 年前焼失後、住民によるどんぐり作戦で自然が復活しました。ところがここ 10 年来、手を入れることもなく、常緑樹等が生い茂る暗い森になっています。これ以上の放置は不安です。誰もが利用しやすくするため、行政等と手をたずさえ、人と自然が共生できる里山に変えていく整備活動に励んでいます。

◆生活相談会

◆すまい相談室

“我が家は地震に大丈夫？”“耐震診断や耐震補強にかかる費用は？”“家のリフォームをしたいけど、信頼できる業者のさがし方は？”など、住まいの困りごと相談に、一級建築士の資格をもったどんぐりｓ会員が相談を受けます。

◎毎月１回（土曜又は日曜）◎参加費無料

◆くらしの相談会　「ハート・ほっと・ルーム」

話すと言う“体験”を通して、人間関係、生き方、様々な問題等、同じような悩みを皆で共有しながら話し合える場です。新しい出会い、支え合う友との出会い、新鮮な価値観との出会いを大切にしましょう。（予約不要）

※ ここで話された内容は、外に持ちださない守秘義務があります。

◎毎月第 4 日曜日 13：30 ～ ◎参加費無料

◆活き活き楽農会

玉野町の遊休地で野菜・果樹を作り、秋には芋煮会を開催します。有機野菜作りを楽しみながら、地域の皆さんと一緒になって、玉野の環境を守り、生き甲斐のある人生を楽しんでいます。

◆どんぐりカフェ

ニュータウン住民の「学びと交流の場」として創設期から続けています。
バス路線など公共交通、 高齢化社会問題など暮らしや社会に関わるテーマで講師を招いて話し合ったり、歌声喫茶風の集いを楽しんでいます。